



自殺問題対策ミニミニシンポジウム

さらなる地域連携を目指して ～あらためて自殺対策を考える～

統計によると、日本の自殺者数は、昨年で「14年連続」して「3万人」を超えています。
これは先進諸国の中でも異常に高い数値となっています。

原因としては、その90%の方がうつ病をはじめとする精神疾患に罹患していることが研究結果から報告されていますが、そこに至るまでには、様々な社会的要因（多重債務問題、労働問題、生活苦、DVなどの家庭・虐待問題…など）が、複合的に絡み合った末のものであり、自殺をされた方は、必ず何らかの「サイン」を発しているとも言われています。
したがって、自殺は、個人の自由な意思や選択の結果起こるものではなく、様々な悩みにより心理的に「追い込まれた死」なのです。

そのため、自殺を食い止めるためには、行政を始めとする様々な専門職種や、地域、職場、近所など、多くの人々が互いに連携を図ることにより、「社会的な取り組み」として対策を講じる必要があります。

私たち神奈川県司法書士会では、平成22年2月に主催した、自殺対策シンポジウム「～死なないで、あなたは一人じゃない～」を契機に、法律面のケアを主として自殺防止に関する取組みを行ってきました。これまで様々な団体が自殺対策に取り組んできているものの、年間3万人を超える方々が自らその尊い命を絶っているという現状は未だ変わっていません。
そこで、私たち司法書士と同様にゲートキーパーの立場にある行政・精神科医・精神保健福祉士・社会福祉士の方々とともに、今までの活動について振り返り、これからの活動、さらなる連携の道を模索していくために、ミニミニシンポジウムを開催することといたしました。

当日は多くの皆さんにご来場いただき、これからの自殺防止活動について、是非とも一緒に考えていきましょう。

2012年3月12日（月）

時間・15:00～17:45

場所・神奈川県司法書士会館3階

主催：神奈川県司法書士会（神奈川県補助事業）



プログラム

第一部 基調講演

「自殺対策における連携の重要性」

精神科医 河西千秋 氏

プロフィール：横浜市立大学医学部精神医学・准教授、保健管理センター長。日本自殺予防学会常務理事、日本うつ病学会自殺対策委員長。医療、職域、大学におけるメンタルヘルス対策・自殺対策に従事するとともに、厚労省、全国自治体、各種学術・職能団体などの委嘱によりさまざまな自殺対策活動・研究に携わっている。県内では大和市、横浜市栄区の地域自殺対策に従事。近著として「自殺予防学」（新潮社）

第二部 パネルディスカッション

「さらなる地域連携を目指して」

パネリストの方に、これまでの自殺問題へのかかわり、その反省点を報告していただくとともに、今後の自殺対策における連携はどのようにあるべきかを考えます。

パネリスト	神奈川県精神保健福祉センター 相談課	石塚祥子氏
	精神保健福祉士	長見英知氏
	社会福祉士	佐々美弥子氏
	司法書士	上村政行

コーディネーター	司法書士	清水隆次
----------	------	------

会場：神奈川県司法書士会館 3階
アクセスマップ

JR 根岸線石川町駅北口（中華街口）
徒歩1分

お問い合わせ：神奈川県司法書士会
TEL：（045）641-1372



参加をご希望の方は氏名、所属団体名を記載の上 FAX をお願いします。

氏名： _____

所属団体： _____

FAX 送付先 (045) 662-8417

※番号のおかけ間違いにご注意ください。※当日直接の参加も可能です。